

授業科目	医療安全と感染管理	開講年次	単位	時間	必修	担当責任者	実務経験
		3年次	1	30		花本富貴子	有
授業概要	<p>医療安全では、看護師が当事者となる重大な医療事故に遭遇することが多いことから、人は何故間違いをおかすのかを理解した上で、医療安全を学ぶ意義を理解し、看護業務や看護技術における危険認識力と危険回避を判断することの重要性を理解する。</p> <p>感染管理では、新たな感染症の発生、すでに制圧されたはずの感染症の再興、治療可能なはずの感染症の多剤耐性化など厳しい状況にあり、感染に対する看護の役割と機能を明らかにし、流行している感染症に対応できる基礎的な能力を養う。</p>						
回数	授業計画・授業内容						授業方法
1	I. 医療安全 医療安全と安全文化						講義
2	医療事故・看護事故の種類と構造						演習 講義
3	看護事故防止の考え方						
4	<ul style="list-style-type: none"> ・業務領域をこえて共通する間違いと発生要因 ・医療安全とコミュニケーション 						演習
5	事故予防のシステムと対策 ・K Y T						
6～8	事故分析の手法の種類 ・エラー分析と対策（R C A）						演習
9	診療の補助の事故防止 ・人工呼吸器関連のインシデントと事故防止 ・注射業務に用いる機器での事故防止						講義
10・11	病院における安全管理の実際						
12	II. 感染経路別予防策 ・手術部位の感染防止						
13	<ul style="list-style-type: none"> ・血管内カテーテル留置患者の感染防止 ・尿留置カテーテル留置患者の感染防止 ・誤嚥性肺炎の予防 						演習
14	感染対策実習						
15	試験						
テキスト	医療安全/医学書院 看護実践マネジメント医療安全/メヂカルフレンド社 看護マネジメント入門/日本看護協会出版会						
評価方法	医療安全：筆記試験、レポート、グループワークの参加態度 5割 感染管理：筆記試験 5割						
先修条件	専門分野 I の履修						